



### 主な内容

- フェスタ in おもちゃのまち、  
蘭学通りまつり ..... 2
- 下稲葉コスモス街道花まつり ..... 3
- 利用していますか! 町の福祉制度 ..... 4
- ねんきん月間 ..... 5
- 農業委員会だより ..... 6
- 防犯講演会 ..... 7

10月8日、下稲葉コスモス街道花まつりが開催されました。まつりの前の10月4日、会場となったコスモス畑では、コスモスの種まきをした、いなば保育園・メリーランド保育園の園児たちがコスモス鑑賞を行いました。

(関連記事3頁)



# 秋はイベントがいっぱい!!



## 駅前広場は大賑わい! 第3回フェスタinおもちゃのまち

10月1日、おもちゃのまち駅西口ロータリー広場を会場に、「フェスタinおもちゃのまち」が開催されました。このまつりは、会場を西口と東口とを交互に実施しており、今回で3回目です。今年も、商工会青年部で、おもちゃのまち商店街発足の30周年と絡めて、30mのかんぴょうの海苔巻きづくりで挑戦しました。1000人の親子で作った海苔巻きを一斉に持ち上げると大きな歓声が上がりました。



ゲームコーナーは子どもたちに大人気



商店街発足30周年を記念し30mのかんぴょう巻き作り

駅前広場には、多くの飲食店の模擬店や野菜直売のお店が並び、石橋消防組合のはしご車やレスキュー車の展示が行われました。特設ステージでは、町内の保育園、幼稚園の出し物が行われ、午後に豪華賞品が当たるはずれなしのスクラッチ抽選が行われました。その他、おもちゃのまち自治会の子どもみこしや鉄道模型、チョコカーストップゲームなどが行われ、終日大勢の家族連れで賑わいました。

## 通り全体が江戸時代にタイムスリップ! 第5回蘭学通りまつり

10月15日、「第5回蘭学通りまつり」が開催されました。このまつりは、県道小山壬生線(通称蘭学通り)の電線地中化完成を契機として始まったものです。蘭学まつり実行委員会と町商工会が商店街の活性化を目的に毎年この時期に開催され、町のイベントとして知名度も上がってきました。歩行者天国となった約700m



わらじ飛ばしに挑戦!

ほどの会場には、関所や自身番、本陣門などが設けられ、昔の町並みが再現されました。多くの模擬店やゲームコーナーが立ち並んだほか、太鼓、お囃子、吹奏楽、バンド演奏、アマチュアそば打ちフ



通りには大凧を展示

エステイバル等のイベントが行われ、大勢の人で賑わいました。今回、下野風の会で作った大凧が通りを横切る形で飾られたほか、各商店街でも自分たちで製作した大凧を展示しました。商工会青年部では、去年に引き続きかんぴょうの海苔巻きづくりを行いました。午前と午後で46mと51m、昨年より1m長い海苔巻きに挑戦しました。できあがった海苔巻きを持ち上げると、拍手と歓声が秋空に響いていました。

## 第7回下稲葉コスモス街道花まつり 秋晴れのもと開催

10月8日、下稲葉花祭り実行委員会(田邊正会長)主催の第7回下稲葉コスモス街道花まつりが同市内の畑約5万㎡を会場に開催されました。

開会式の後、コスモス畑をバックにした路上ステージでは、地元メリーランド保育園の琉球国祭り太鼓の披露や生バンド演奏、歌謡ショー、大抽選会が行われました。メイン会場の各種模擬店では、地元老人会のお汁や町観光協会のやきいも、下稲葉消防団の飲食店、野菜の直売など多数出店し、大勢のお客で賑わいました。また、無料配布としてアキグミの苗木や有機肥料、いちごの生ジュースなどにも多数のお客さんが立ち並びました。

当日はさわやかな秋晴れで、ピンクやオレンジ色に咲き乱れたコスモス畑の中で家族連れがコスモスをバックに写真を撮ったり、花を摘んだりしていました。このコスモスマつりを楽しみに



多くの家族連れがコスモス鑑賞、花摘



コスモス畑をバックに保育園児が踊りを披露

県内各地からからも訪れる常連の方も多くいるそうです。

## いなば保育園、メリーランド保育園の園児たちが一足早くコスモス鑑賞

10月4日、次の日曜日に開催される下稲葉コスモス街道花まつりのコスモスを、まつりの実行委員会が保育園児たちをトラクターのトレーラーに乗せて披露しました。

10月4日、次の日曜日に開催される下稲葉コスモス街道花まつりのコスモスを、まつりの実行委員会が保育園児たちをトラクターのトレーラーに乗せて披露しました。



コスモスの迷路をみんなで散歩



トラクターに乗り上からコスモス鑑賞

この日コスモス畑の見学をしたのは、7月にコスモスの種まきをした、いなば保育園、メリーランド保育園の園児たちです。いなば保育園の37名とメリーランド保育園の100名の園児たちは、会場まで歩いてやってきて、見頃を迎えたコスモス畑の中に作られた迷路を走り回りました。その後順番に大型トラクターに牽引されたトレーラーに乗って、コスモスを上から見下ろすように、ゆっくり見学しました。トラクターは、近くのさつまいも畑まで園児を運んでいき、そこには、実行委員会のメンバーたちが焼き芋を作っていました。

# 社会保険庁、11月に「ねんきん月間」実施

週間から月間に変更、広報だけでなく収納対策等も

平成3年度から、年金制度の周知・広報を目的として「年金週間」を設置してきました。今後は、制度の周知・広報にとどまらず、実際の保険料収納等の行動に結びつけることが重要であり、収納対策の効果的な実施を図ることを視野に入れ、活動期間を週間から月間に変更することとしました。

公的年金は、「世代と世代のささえあい」です。昔の日本は家族で高齢者の暮らしをささえるのが一般的でしたが、少子化や核家族化が進行した今日では、長い老後を子供の収入だけで支えていくのは難しくなりました。公的年金は、家族単位で扶養してきた昔のしくみを社会全体に広げたもので、子供の世代が老親の世代に“仕送り”する世代間扶養のしくみになっています。つまり、自分たちの納めている保険料が今の高齢世代を支え、自分たちが年老いたときには次の世代の納める保険料によって支えられるようになっていきます。65歳に達したら老齢基礎年金、病気や事故等で障害が残ったら障害基礎年金、また生計を維持している方が死亡したときは遺族基礎年金があります。

**いずれの年金も保険料の納付要件(免除、若年者納付猶予、学生納付特例期間も含む)がなければ受けられない場合があります。**  
 ※1/4納付、1/2納付、3/4納付を承認された期間のうち、納付していない期間は除かれます。

## 老齢基礎年金を受けるために必要な期間とは

- 1 国民年金料保険料を納めた期間
- 2 国民年金保険料の免除を受けた期間
- 3 若年者納付猶予や学生納付特例を受けた期間
- 4 合算対象期間(国民年金に任意加入できる方が任意加入しなかった期間など)
- 5 昭和36年4月以後の厚生年金の被保険者期間又は共済組合の組合員期間
- 6 第3号被保険者であった期間

合計で25年以上が必要

◆合算対象期間(カラ期間)とは……国民年金に任意加入できる方が任意加入しなかった期間などをいいます。受給資格期間(25年)を満たしているかどうかをみるときは計算されますが、年金額を計算するときには含まれません。

◆任意加入とは……「海外に留学、居住する方」や「60歳を過ぎても25年の受給資格期間を満たさない方」や「年金額を満額に近づけたい方」が加入できる制度です。加入を希望される方は役場住民課国民年金係で年金手帳と印鑑をご持参いただき手続きが必要です。海外転出の場合は国民年金保険料の納付などを代行する協力者(親・兄弟・子など)が必要となり、いない場合には(社)日本国民年金協会に依頼することができます。

## 障害・遺族基礎年金を受けるために必要な期間とは

### 障害

初診日の前々月までの被保険者期間のうち2/3以上の納付が免除期間があること又は初診日の属する月の前々月までの直近の1年間に保険料の未納期間がないこと

### 遺族

国民年金加入可能年数の2/3の納付が免除が必要、老齢年金の受給資格があること

### 国民年金保険料は、税金の負担が軽減!

納めた保険料は社会保険料控除として全額控除の対象となり、税金が安くなります。

◎問合せ先 ● 栃木社会保険事務所 国民年金業務課 ☎22-6074-6075  
 ● 町民生部住民課国民年金係 ☎81-1827



# 利用していますか! 町の福祉制度

## ◆すこやか子育て支援制度◆

### すこやか子育て支援金制度

子どもを安心して産み育てることができるよう、「すこやか子育て支援金」を交付し、少子化時代における子育てを行う両親への支援を行います。

#### ▼受給要件

次の要件にすべて該当した方に交付されます。

①第3子以上の出産の日前に、本町に引き続き1年以上住所を有する方

②現に2人以上の児童を養育していること、または、2人以上の児童を養育している事実状態にあると認められること

③第3子以上を出産し、かつ3ヵ月以上養育していること

#### ▼支援金額

第3子以上1人につき 100,000円

#### ▼申請手続方法

該当する方は、出産の日から3ヵ月経過後に町民生部福祉課、稲葉・南犬飼出張所において申請してください。

#### ▼申請に必要なもの

- ① 戸籍謄本(全部事項証明)
- ② 住民票の写し(世帯全員のもの)で本籍・続柄の記載のあるもの
- ③ 預金通帳(保護者名義のもの)

### ④印鑑

### チャイルドシート 購入費補助

- ① 保護者(養育者)及び乳幼児が町内に住所を有する方
- ② 乳幼児が6歳未満の方
- ③ 安全基準に適合するチャイルドシートを購入した方

#### ▼補助額

購入額(消費税を含む)の1/2(100円未満切捨て)、ただし、1台につき2万円を限度とする。

※乳幼児1人につき1台に限る。

#### ▼申請手続方法

出産後に町民生部福祉課 稲葉・南犬飼出張所において申請してください。

#### ▼申請に必要なもの

- ① 領収書またはレシート
- ② 品質保証書または取扱説明書
- ③ 預金通帳(保護者名義のもの)
- ④ 印鑑

### 第3子以降の 保育料全額免除

町立の保育園、民間の認可保育



### 放課後児童健全 育成事業

園入園児童の保育料が第3子以降は全額免除になります。幼稚園についても同様の助成制度があります。  
 (詳しくは町教育委員会学校教育課 学校教育係 ☎81-1871まで)

保護者等の不在などにより、下校後、保護指導を受けることができない町内の小学校に通学する1年生から3年生までの児童の健全な育成を図るため、児童と保護者と組織する児童クラブが基本的習慣を家庭的な雰囲気の中で学習する場を提供します。

#### ▼児童クラブの主な事業

- ① 児童の育成・指導
- ② 地域及び保護者相互の連絡・提携
- ③ 円滑な運営を図るため、定期的な運営委員会の開催

#### ▼児童クラブ開設時間及び休日

◆開設時間  
 原則として、下校時から午後5時30分(但し、学校休業中は、午前8時30分から午後5時30分)  
 ◆休日  
 日曜日、祝日及び年末年始

#### ▼対象児童

町内の小学校に在籍する1・2・3年生の児童で、下校後家族が留守のため、保護者の指導を受けられない児童

3年生の児童で、下校後家族が留守のため、保護者の指導を受けられない児童

#### ▼委託児童クラブ

- ① どんぐり児童クラブ  
 壬生町落合3-15-21
- ② 壬生東小学校内  
 ☎82-1151
- ③ メリーランド児童クラブ  
 壬生町下稲葉3-9-6
- ④ ベリーキッズクラブ  
 ☎82-5921

- ⑤ 壬生町本丸2-3-17
- ⑥ 壬生小学校内  
 ☎82-8433
- ⑦ 森の子児童クラブ  
 壬生町おもちゃのまち2-12-11  
 ☎86-2780

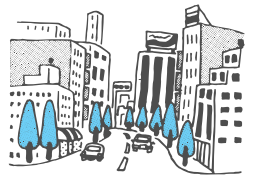
#### 問合せ先

町民生部福祉課児童福祉係  
 ☎81-1831



※写真は「とおりまち保育園」提供





## 全校生で「いねかり」体験 稲葉小学校



鎌を使っていねに刈り取りました

9月29日、稲葉小学校の全校児童による、いねかりが行われました。稲は5月に児童が植えたものが見事に育ったものです。稲葉小学校名に「稲」の字を持つこともあり、毎年学校近くの渡辺好充さん（上稲葉）のご支援ご指導を受けて、稲作体験を続けてきました。

秋晴れの中、渡辺さんの説明を聞いた後、初めての1年生から慣れた手つきの6年生まで、児童は収穫の喜びを味わいながら黄金色の稲穂を熱心に刈り取りました。

なお、収穫したお米は、毎年卒業記念紅白餅となって卒業生に配られます。

## 遊休農地の是正へ 農地パトロールを実施

町農業委員会では、農地の荒廃を防ぎ、優良農地を確保することが重要であるとの観点から、毎年農地パトロールを実施しています。

本年は、農業委員23名が各地域別に班を編成し、10月10日一斉に町内全域でパトロールを行いました。

遊休・荒廃農地の有無を調査し、訪問や文書により是正のお願いをしました。

農地の不適切な管理は、周囲の農地にも多大な迷惑をかけることにもなりますので、特に除草などについては忘れずに行うようお願いします。



## 北小林自治会公民館で青少年健全育成地域懇談会が開かれました

青少年を、地域で守ろう、育てようと、北小林自治会公民館（山野井實館長）、北小林自治会（石江善光自治会長）主催の地域懇談会が、警察・青少年育成指導員・スクールガードリーダー、管内小中学校長等を招いて、58名の方々の参加を得て9月2日（土）に開かれました。当日は、壬生交番所長から青少年を取り巻く環境や事件事故の話や、指導員会から子どもを犯罪から守るためのビデオ上映の後、全体での話し合いが行われました。

最近の子ども達を取り巻く環境は、凶悪な犯罪に巻き込まれる事件が多発していることから、犯罪を未然に防止するための環境を、地域住民ひとり一人の協力の積み重ねにより作る必要性や、地域、家庭、学校が互いの役割を相互に補完しながら、みんなで子どもを育てて行くこと、危険箇所は大人の目線ではなく、子どもの目線で見る必要があるなど、地域住民として何が出来るかなどを活発に話し合いました。



地域懇談会の開催にあたっては、壬生町青少年健全育成実施委員会、壬生町自治公民館連絡協議会が後援しております。懇談会のお申し込み、お問い合わせは、教育委員会事務局生涯学習課社会教育係（☎81-1873）又は、壬生中央公民館（☎82-0108）まで

## 自治会長さんが町に意見・要望を提出

### 町政懇談会



自治会長さんからさまざまな意見・要望が出されました

10月12日、壬生中央公民館において、町自治会連合会（河野邊弘吉会長）主催による、「平成18年度町政懇談会」が開催されました。

懇談会には、各自治会の自治会長さん、町からは、町長、助役、教育長、総務、民生、経済、建設、上下水道の各部長、教育次長が出席しました。

清水町長から行政運営の状況についての説明のあと、自治会長さんから意見・要望が出され、町執行部との活発な意見交換が行われました。

- ・消防団について
- ・道路舗装について
- ・道路側溝整備について
- ・ゴミ収集ステーションについて

## いなば保育園・稲葉小学校の子どもたちが「なかよし農園」でさつまいも掘り

10月17日、稲葉小学校といなば保育園合同で使用している「なかよし農園」において、さつまいも掘りが行われました。

「なかよし農園」は、上稲葉の三上貞次さん所有の畑（5a）で、小学校と保育園の間に位置しています。

この日も掘りに参加したのは、稲葉小学校の3年生24人といなば保育園の年長児9人で、収穫したさつまいもは、6月に児童・園児たちが自分で植えたものです。

子どもたちは、いなば花と緑の郷づくり協議会（伊藤充哉会長）や地元町会議員、農業委員、マミーボット、小学校PTAのみなさんの手伝いを受けながら、自分の頭ほどもあるいもを収穫し、歓声を上げていました。

いも掘りのあとには、焼いもが用意され、子どもたちは「おいしい」と声を上げながら、焼いもをほおぼっていました。



力を合わせて大きなさつまいもを掘りました

## NHKラジオ「旅するラジオ こんにちは！80ちゃんです」

### おもちゃ博物館から生放送



多くの人が見物に訪れました

10月19日、NHKラジオ第一の「旅するラジオ こんにちは！80（はちまる）ちゃんです」の生放送が、おもちゃ博物館の玄関前にて行われました。この番組は、「あなたの街からふるさとの元気をお届けします。」として、ステージ一体型のバス「80ちゃん」で全国を回って放送しているもので、この週は栃木県の各市町を廻り壬生町の他に大平町、栃木市、日光市、足利市で生放送しました。

「80ちゃん」のステージの上では、NHKアナウンサーの司会でおもちゃ博物館の嘱託員がおもちゃ団地で生産したおもちゃの移り変わりを実物を持って説明し、次に蘭学通り実行委員会が蘭学まつりで製作した大凧を飾ってアピール、最後に鉄道模型の会がジオラマのPRをしました。

汗ばむほどの秋空の下の噴水広場には、当日朝のラジオ予告を聞いて集まった人たちや、すけが保育園の園児たち100人ほどが盛んな拍手を送っていました。



## 人権擁護委員 大森忠さんが法務大臣表



大森さん 清水町長

9月26日、法務省において、人権擁護委員の大森忠<sup>あつし</sup>さんが法務大臣より表彰を受け、9月27日、受彰の報告のため、町長室を訪れました。

これは、永年にわたり人権擁護委員として、人権擁護と人権思想の普及、高揚に多大な貢献をされたことが認められたものです。

大森さんは、平成5年10月より人権擁護委員として活躍されています。

## 地域安全の功労者表彰

全国地域安全運動期間中の10月17日、『第31回地域安全県民のつどい』（県警・県防犯協会主催）が宇都宮市野沢町のパーティとちぎ男女共同参画センターで開催され、長年にわたり地域安全活動に携わってきた防犯功労者やボランティア団体、防犯ポスター等の入選者が表彰されました。

壬生町からは功労ボランティア団体として、壬生町上通町青壮年部（増田悦勇代表）・睦地区防犯組合（森島淳代表）・至宝町南自治会危機管理委員会（大栗正徳代表）の3団体が表彰されました。また、優良防犯連絡所として、梁島忠二さんと太田ヤイさんが、優良少年指導員として、藤田克巳さんが、それぞれ表彰され、地域安全マップの入選者として、睦小学校6年 谷口有寿佳<sup>あすか</sup>さんが表彰されました。



増田さん 森島さん 大栗さん 神永助役

## 優秀農業青年クラブ等表彰



写真左から福田下部管農業振興事務所経営普及部長、三上さん、山川副会長、鯉沼会長、琴寄事務局長、清水町長

9月6日全国農業青年交換大会において、優秀農業青年クラブ等表彰が行われ、壬生町青少年クラブ協議会（鯉沼和良会長）が全国農村青少年教育振興会長賞を、三上光一さんが農林水産省経営局長感謝状を授与されました。

この表彰は青年農業者の自主的な組織的活動を奨励し、活性化を図る観点から、優れた活動を行っている農業青年クラブ、及び青年クラブの自主的な組織的活動の指導に尽力し、発展に寄与した農業青年篤志指導者を表彰するものです。同協議会と三上さんは長年の優れた活動等により栃木県から推薦を受け、全国大会での選考の結果、今回の受賞となりました。

また、壬生町も同協議会の育成協力機関として全国農村青少年教育振興会長感謝状をいただきました。

## いきいき壬生2006

～知ろう 考えよう 生活習慣病～

10月17日、保健福祉センターにおいて、町・壬生町医師会・下都賀郡市医師会主催による、「いきいき壬生2006～知ろう 考えよう 生活習慣病～」の研修会が行われました。

会場には多くの参加者が集まり、みなさんの健康への関心の高さが分かります。

この日行われたのは、第2回の栄養・運動指導で、壬生町医師会の先生方から「運動は無理なく達成できるような目標で」「調味料をあまり使わないように」「減塩しょう油・酢を使うなどの工夫を」といった講話のあと、生活習慣病は生活習慣の改善により予防できると、健康運動指導士と栄養士から具体的な指導を受けました。

みなさんメモを取るなど、真剣に話を聞いていました。今後、より健康に対する関心が高まることが期待されます。



生活習慣予防研修会

## カンボジアの子どもたちが踊りを披露 壬生寺保育園



保育園の講堂で踊るカンボジアの子どもたち

10月4日、カンボジアFLO孤児院の子どもたちが壬生寺保育園を訪れ、民俗舞踊と古典楽器の演奏を披露してくれました。

この子どもたちは、壬生寺の信徒であり慈覚大師円仁の研究家でもある、リチャード・ダイク氏の招待により来日中の子どもたちで、カンボジア国内でも評判のダンスチームです。王宮で来賓を歓迎する折にも披露しているそうです。

先のカンボジア内乱で孤児になってしまった子どもたちですが、礼儀正しく、愛らしさや活発さがあり、英語や日本語をどんどん学び吸収していく適応力には、とても感心させられました。

## シルバー事業への理解を！会員が奉仕活動を行う

（社）壬生町シルバー人材センター

社団法人 壬生町シルバー人材センター（神永榮理事長）では、10月21日（土）の「シルバーの日」（10月の第三土曜日）に、会員92名が参加し公園などの空き缶やゴミ拾いを行いました。

これは、地域の皆さんにシルバー人材センターの活動の理解と認識を深めてもらおうと、10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」の一環で、全国一斉に会員参加による社会奉仕活動として実施したものです。

この日は、参加者が三班に分かれて、壬生町総合公園、総合運動場、保健福祉センター周辺の清掃を行った後、お楽しみ抽選会やセンター会員互助会（安部孝会長）主催のグラウンドゴルフ大会が行われ、楽しいひとときを過ごしました。



壬生町総合公園で清掃を行う会員

# みんなの広場



古澤李佳ちゃん (旭町)  
(H17.11.12生)



余沢咲幸ちゃん (下表町)  
(H16.11.1生)



大関辰弥ちゃん (下表町)  
(H16.11.3生)



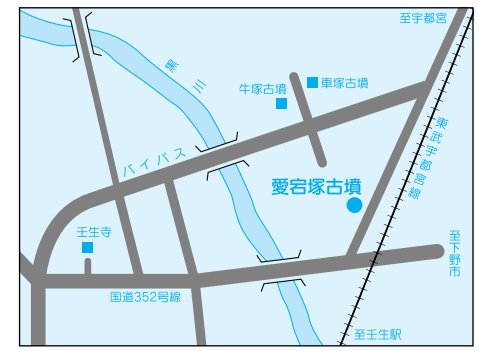
笠不意生ちゃん (H12.11.16生)  
笠不唯吹ちゃん (H17.4.4生)  
(下表町)



次回は1月生まれのアイドルを募集します。  
(締切12月20日)。写真はお返します。  
応募者多数の場合は抽選になることもありますのでご了承ください。  
写真裏に住所、氏名、保護者名、生年月日、電話番号を書いて、役場企画財政課(直接または郵便で〒321-0292壬生町通町12-22)または、稲葉・南犬飼各出張所、生涯学習館へ。

## 歴史民俗資料館だより

シリーズII  
『みぶの史跡を訪ねて』  
**愛宕塚古墳**  
愛宕塚古墳は、黒川東岸の台地上に築かれた前方後円墳で、現在国の指定史跡となっています。墳丘は二段に造られ、県史部の大型古墳の特徴でもある第一段平坦面を幅広く造る特徴が愛宕塚古墳にもみられます。墳丘の長さは77mあり、墳丘の周囲に掘られた周溝の底からの高さは約6m程あります。周溝の周囲には周堤(土塁)がめぐり、とくに西・北側の周堤が保存の良い状態で見学できます。愛宕塚古墳からは埴輪が確認されていることから、近くにある牛塚古墳や車塚古墳に先行して築かれた古墳と考えられます(6世紀後半代)。周堤上より出土した「盾持ち人」の埴輪は(写真・資料館展示中)、県内でも出土例は少なく、古墳に埋葬された人物を悪い霊から守るために古墳の周囲にたてられたと考えられています。  
なお愛宕塚古墳の墳丘上



「盾持ち人」の埴輪

問合せ先  
歴史民俗資料館  
☎ 82-8544

## スポーツ

### 老人クラブ スポーツ大会

10月5日、壬生町老人クラブ連合会(神永昭次会長)主催による第29回スポーツ大会が、町総合運動場にて開催されました。参加したのは58老人クラブの

会員約1,000人で、延べ参加人数は1,200人を超える町最大の老人のスポーツ大会です。清水町長や小菅町議会議長、佐藤代議士、鯉沼県議等の来賓あいさつのおと、中川英二さんの選手宣誓で競技が始まりました。競技は、輪投げ競走・スプリンリレー、新婚旅行といった高齢者向けの趣向を凝らした種目で、出場者は真剣な表情で、応援席からは拍手が会場に響いていました。



## 壬生町レクリエーション大会

ニュースポーツを体験

10月8日、総合公園陸上競技場で第16回町レクリエーション大会が行われました。スポンジの剣で打ち合うスポーツチャンバラや、競技用の紙飛行機を使った「紙ひこうき飛ばし」など、11種類のニュースポーツを300人以上の方々に体験していただき、最後に大盛況の「イワナつかみ」で大会が終了しました。



スポーツチャンバラ



紙ひこうき飛ばし

## あなたの意見・考えを “まちづくり” に生かしてみませんか?

「みぶ“まちづくり”住民会議」は、「住んで良かった!住み続けたい!」そんな「壬生町」にしたいと考える住民のみなさんが集まり、好ましいと思うまちづくりのあり方について話し合っているグループです。これまでに、まちづくりに関する意見や要望書を町へ提出したり、自分たちが住むまちの新たな魅力を発見するために、町の史跡等を訪れるなど、自主的に活動してきました。今後も住民と町とのパートナーシップによるまちづくりを進めていくために、メンバーの募集を予定しております。なお、募集に関する詳しい内容については、現在検討中ですので、「広報みぶおしらせ版(12月8日号)」で、改めてお知らせいたします。まちづくりに関心のある方、町をもっと知りたいと思ってる方は、是非、ご参加ください。



○会員みんなで話し合った成果を町長へ提出。



○自分たちが暮らす町をもっとよく知るために「歴史探査」を開催。 ※北小川の「天棚」

問合せ先 町総務部企画財政課企画調整係 ☎ 81-1813

# 親子でさつまいも掘り体験

10月21日、六美町地内のふれあい農園にて、さつまいも掘りの体験がありました。子育て支援センター「ひよこ」と児童館「いちごくらぶ」、壬生小学童保育「ベリーキッズ」合同による事業で、親子で124名も参加がありました。



親子で楽しいひとときを過ごしました

当日は土曜日ということもあり、お父さんたちも多数さつまいものつる切りなどの作業に協力していました。その他に民生委員さんやふれあい農園利用組合長の石村寿夫さん、町のボランティアサークル「かたつむり」のみなさんの協力もあり、子どもたちは親子で力を合わせて大きなさつまいもをたくさん掘り上げていきました。



## 寄付



絵画「魚のアパート」



壬生小 5年 高橋 蓮



壬生小 5年 品川 麻希子



糸のこドライブ

### ◆社会福祉協議会へ

(○)数字は寄付回数

- ふれあいカラオケ教室様<sup>18</sup> 2万7千152円
- 壬生町青少年健全育成実施委員会様<sup>3</sup> 1千524円
- 壬生町文化協会・歌謡部会様<sup>4</sup> 3万8千779円
- (社)壬生町シルバー人材センター刃物研ぎ様<sup>10</sup> 1千500円
- (社)壬生町シルバー人材センター

福祉・家事援助サービス班様<sup>2</sup> 2千円

(社)壬生町シルバー人材センター

盆裁部様<sup>6</sup> 3千円

陶芸クラブ様<sup>18</sup> 1万円

(株)新優本店様<sup>10</sup> 1万円

壬生町女性会様<sup>23</sup> 1万円

壬生町ひまわり会様<sup>18</sup> 3千円

### ◆町へ

9月26日、壬生町消防団第1分団親睦会様から、社会福祉に役立てて欲しいと、2万1千500円の寄付がありました。

## まちのうごき

11月1日現在

総人口	40,124 人 ( 22 )
男	19,675 人 ( 10 )
女	20,449 人 ( 12 )
世帯数	13,824 世帯 ( 8 )
	( )内は前月比

## 12月の納税等

- 固定資産税・都市計画税(3期)
- 国民健康保険税(6期)
- 介護保険料(普通徴収・6期)

納期限 12月25日